

# これからの機能性食品研究・開発の方向

日時 : 2019年7月19日(金) 13時30分～

会場 : アキバプラザ 7階 EXルーム <千代田区神田練堀町3>

参加費 : **¥16,200-(税込)** 食品ニューテクノロジー研究会 会員企業は無料

【座長:】 谷口 肇氏 石川県立大学 名誉教授

1991年にスタートした特定保健用食品の市場規模は6000億円を超え、2015年にスタートした機能性表示食品は2000億円を超える市場に成長している。然し人口減少による国内市場の縮小傾向や経済の急速なグローバル化の進展を踏まえて、機能性食品の研究・開発にも国際的に通用する科学的エビデンスの構築・蓄積が必須の時代になって来た。

本日の講演では、先ず我が国におけるバイオマーカー研究の第一人者である大澤俊彦先生にバイオマーカーの探索、開発、利用などについて、先生の豊富なご研究の中から具体例を挙げて紹介し、バイオマーカー研究の重要性についてご講演いただく。

次いで児林聡美先生から、農学部における食品の機能性に関する研究からスタートし医学部における食品の疫学研究に至るまでのご自身の研究歴を踏まえて、疫学研究とは何か、疫学研究の重要性、さらには疫学研究の進め方まで具体的にご講演いただく。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

【講演Ⅰ】 13:40～14:50

## 機能性研究におけるバイオマーカーの重要性

愛知学院大学 心身科学部健康栄養学科 特任教授 大澤俊彦氏

<http://psyphy.agu.ac.jp/eiyo/teachers/osawa/>

【講演Ⅱ】 15:00～16:10

## 機能性食品に携わるひとに知ってほしい栄養疫学の重要性

HERS M&S 代表

東京大学大学院 医学系研究科 社会予防疫学分野 客員研究員

児林聡美氏

<http://www.nutrep.m.u-tokyo.ac.jp/members/kobayashi.html>

<https://hers-ms.com/>

【座長まとめ】 16:10～16:30

お問い合わせ先:

**日本食糧新聞社** (食品ニューテクノロジー研究会) 中山清美

電話 03-3537-1310 FAX 03-3537-1071

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル7階

# これからの機能性食品研究・開発の方向

食品ニューテクノロジー研究会

7月19日申込書

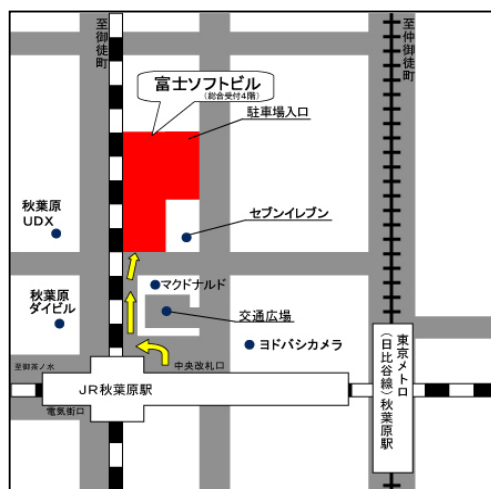
FAXで03-3537-1071までお申し込み下さい。

- ◇ お申込み後、請求書をお送りいたします。
- ◇ 受講票は発行しておりません。
- ◇ 当日は名刺をお持ちください。

会社名	
住所	〒
電話	
FAX	
お名前	部署／お役職

## 会場案内

### 富士ソフト アキバプラザ



〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3  
富士ソフト秋葉原ビル 7階 EXルーム  
TEL:050-3000-2741

※ ファリマート前のエレベーターで7階にお上がりください。

## 次回

8月2日(金) 13:30～ アキバプラザ

『のど越しのおいしさ～化学感覚と体性感覚の相互作用から』

座長：お茶の水女子大学 名誉教授 久保田紀久枝氏

講師：東北大学 教授 駒井三千夫氏

小川香料(株) 海外フレーバー事業部 宮澤利男氏

◎ セミナー情報 <http://bit.ly/Ke3If3>

◎ セミナー申込 <http://bit.ly/1cSZRCk>

提供いただきました個人情報は、当該業務および当社からのご案内を目的として利用します。なお、個人情報を当該業務の委託に必要な範囲で委託先に提供する場合や関係法令により認められる場合などを除き、お客様の許可なく第三者に提供することはありません。